

大島中学校 働き方改革について

- 大島中学校では、教職員が生徒たちと向き合う時間を確保し、教育活動の質を高めること、また、教職員が心身ともに健康で、情熱をもって生徒たちと向き合える環境を整えるために業務改善を推進し、働き方改革に取り組んでいます。

- 本校の主な取組

- 教職員の勤務時間のマネジメント

- ・ 生徒総下校50分後から翌日7:30まで、応答メッセージ付き電話対応にする
 - ・ 長期休業日は学校閉庁日（周防大島町教育委員会設定日、学校設定日）を設け、年次有給休暇等を取得しやすい環境を整備する

- 校務の効率化

- ・ 校務分掌の整理と役割の明確化
 - ・ 校内共有文書の統一化（共有フォルダの整理）
 - ・ 校務支援システムの活用による事務作業の削減

- ICT活用の推進

- ・ 教職員の日々の連絡や共通理解事項については、タブレットを活用し、情報共有の迅速化、会議等の時間短縮、業務の簡素化を図る
 - ・ 職員会議の資料等は、クラウド上、若しくは共有フォルダへのデータアップによって行い、印刷や配付等の業務を減らす
 - ・ 保護者へのアンケート等はWeb回答を推進し、情報収集や、集計処理をコンピュータで行う
 - ・ 欠席連絡のデジタル化

- 会議・打合せの見直し

- ・ 会議時間の短縮
 - ・ 不要な会議の削減

- 業務の精選

- ・ 行事の見直し（目的の明確化・簡素化）
 - ・ 負担の大きい業務の洗い出しと見直し

- 教職員の健康管理

- ・ メンタルヘルスに配慮した勤務環境づくり
 - ・ 休暇取得の促進

- 今後の課題と改善方針

- ・ 校務支援システムの活用の仕方
 - ・ 保護者・地域と連携した協業体制の強化
 - ・ 行事・校内体制の継続的な見直しと、教職員の業務量の平準化
 - ・ 部活動の地域移行による負担感の軽減